

JR津田沼駅南口開発の進展に伴う児童増加対応について 谷津南小学校保護者対象説明会 議事録（要約）	
開催日時	平成26年2月21日（金曜） 15：30～17：00
場 所	谷津南小学校
出席者	辻学校教育部長、市瀬学校教育部参事、小野寺教育総務課長、島本教育総務課主幹

<習志野市通学区域審議会からの答申を受けて再度精査検討を行なう状況説明を行なった>

【質疑応答】

質問者 バス通学で谷津南小学校にということだが、全国的に見て、バス通学をしている公立小学校というのは、どのくらいあるのか。

回答者 バス通学という点で言えば、船橋市のほうで、やはり開発によってということで、通学バスではないけれども、事業者負担で学校も経由するような形のバス。それを通学用に使わせているという対応で学区を、飛び地という形で船橋市に事例はある。

質問者 今回の場合で言うと、もともとある京成バスとかに乗るとのことか。そうではなくて、スクールバスなのか。私たちが勝手に考えていたのは、スクールバスが出るのかなと思っていただけでも、今の話だと、ちょうど路線もあることだし、京成バスに乗ってあげればいいのかと思った。まだそこまではいっていないのか。

回答者 その検討は、これから、もしそういうことにするのであれば、バスの形態、導入手法、これらを詳細に検討させていただくということになる。

質問者 売り出す前に、もうこの学区は、ここに住んでいる子たちは谷津南小学校だよと言って販売するということになるのか。

回答者 仮に谷津南小学校にした場合は、そういうことになる。

質問者 もう3月の時点で決まっているのか。はっきりと、バスにするよというこ

とは。

回答者 前提としては、今市長への申し入れをさせてもらっているの、それは市長の意向として通学バスでやむを得ないという確認ができれば、市においても、バスを出すということが一つの前提にはなるので、その出し方は検討させてもらう。そういう中で、来週の月曜日に定例の教育委員会議で、教育委員の議論も踏まえて、ここで、学区を変えるのであれば変える、変えないのであれば変えないという決定をさせてもらう。

質問者 販売される時点である程度、もし私が買うとすれば、子どももいて、ここに住めばこの学校で、バスならバスと決まっていたら、飛び地というか、学区であっても、それを承知で買うので、納得だなとなる。しかし、もし何かその辺があやふやであれば、購入される方は多分谷津小だろうとか、近くの、あの学校かなというふうに、勝手に想定していると思うので、それを買ってしまった後で、そういう状況になったときに、えっ、ていう感じでまたごちゃごちゃなると、来られる方も気の毒。私たちも保護者として、一緒にやっていく方なので、いざこざじゃないけれども、普通にPTA活動とかをしていく上で、何かちょっとそういうのはいやだなと思う。谷津南小は少なくなっているんで、人数が増えるのはうれしいんけれども、ちょっとそこは、子どもを持つ親としては、一番気になる。

回答者 販売事業者は、ここの学区についてはどこになるということは、一切言っていない。

質問者 じゃ、谷津小というのも言っていない形か。

回答者 この地域については、今通学区域が決まっていないというか、その内容については市のホームページ、こういったことで検討しているの、市のホームページを御覧くださいということしか、話はしていない。あと、パンフレットを見ても、確かに通学区域のことは一切触れられてはいない。

質問者 これは27年度の2月とか3月には、もう、もしこのことが決まれば、869戸、決まれば、谷津南小へ徐々に転入者が来るという事態に実際になっていくということか。

回答者 入居自体が今ディベロッパーのほうから聞いているのは、27年の9月、2

学期になってから入居するということである。

質問者 先ほどの資料を見せていただくと、そんなに急にではないというような、3クラスみたいな感じだけれども、9月から徐々に入居されて、例えば12月になった段階で、1クラスが40などという学年が起り得る可能性があると思うが。

回答者 基本的に、推計の数字は今の国の基準及び千葉県の弾力的措置、学級編成は1、2年生が35人クラス、3年生から6年生は38人クラスでの推計学級数になっている。基本的にはそのクラス編成となる。ただ、学期中なので、その辺のクラスのありようというところで、考えなければいけないことは出てくるかもしれない。

質問者 実際に今、既に谷津南小で、3学級だったところが学年が上がって2学級になったりすると、クラスの人数が38というような学級がもう既にあって、そこに例えば3人ずつ、2学期から入って、転入者が増えた場合となると、もう簡単に40を超える。それが低学年であれば、まだ体が小さくて机も小さいからいいけれども、今実際に5年生で38人というようなクラスというのは、後ろまでいっぱいいっぱいである。そこにもし、2学期から3人ずつ、これは仮定でしかしょうがないけれども、なった場合、40を超えて、しかも5年生、6年生などという場合ということも、当然想定され得ると思う。学年の始まりであれば、増えるだろうということで、多めにクラス編成していただくことができるかもしれないけれども、始まってしまって2学期から、9月からというような、これは1月でも同じだと思う。そういうようなことを考えると、27年度の9月からという話であっても、例えば27年度の当初から、今までだったら2学級の学年になるけれども、増えるということを考えておけば3学級にしておいていただけるというような措置というのを、受け入れる側としては非常に求めたいところだと思うが。

38で始まったら41に9月からなったということ、本当に子どもたちの教育環境的に言うと、来ていただくのはとてもうれしいけれども、特に27年度が心配というか、27年度の途中からというのは、27年度になるときに、既にもう考えていただけるようなお心づもりはお願いできるか。

回答者 それは県との協議もあるかもしれないけれども、要は先を見越して学級を開いておくというのは基本的には無理である。それはなぜかということ、職員を採用しなければいけないので、職員配置に関わることなので、1学期に、

2学期の予想をして、既に学級を開いていくということは、非常に難しいことだと思っている。

例えば、習志野市の中でもかつては、秋津小学校は毎学期クラス解体があった。秋津小学校を開校する当時、毎学期やった。恐らく、職員を採用するということは、その方たちに給与が払われるということになる。そうすると、先のことを見越して学級を開いておいてということは、なかなか難しいわけである。

今懸念されているように、2学期から入居が始まっていくということだから、委員会が最大できることは、入居が来たときにどういう学年の子がそこに、購入されたときに、どういう学年の子たちがいるのかというのをまず把握して、この学年はこれだけ増えて、2学期になるとクラスの人数がこうなっていくということを、学校と協議をしていくことしかなくて、それで学校長の判断になる。それこそ3学期に学級を開かないかもしれない。来たけれども1学期間はとにかく頑張ろうと、先生方で頑張っていこうと。保護者にも理解を求めて、この3カ月間はとにかく定数を超えているけれども、学年の、年度の変わりのときに学級を開いていこうということもあるかもしれない。

2学期になったら、2学期のときは、校長として、まだ半年ある中で、こんなに学級の中に多くなったら、やはりここは保護者と相談をして、学期の途中だけでも、こういう状況を考えて、子どもたちのために学級を開きましょう、増やしましょうということは、あるかもしれない。

質問者 その場合は、例えば2学期は、クラス替えになってしまうことも考えられるが。

回答者 可能性はある。クラス替えをやって対応していくという可能性は、現に秋津小学校で毎学期学級が替わった。

あとは、校長と相談、協議の中で進めていくことになる。

それともう一つ。学級編成は、今38人という、弾力で3年生から6年生まで38名で学級編成しているけれども、法的には40人である。40人が1クラス。だから40人までは教室の中にいていい、38人を超えても。ところが、今は38人学級で、弾力でやっているから、38人で開いているから、30人ぐらいの学級であったりとか、そういう可能性がたくさんある。つまり、かなり余裕がある学年が、多分この谷津南小学校にも、二十何人の学級があったり、1年生、2年生は35人で1クラスでやって構わないから、特に1年生は35人で法的にはいっぱい、2年生については千葉県の方

の弾力なので、35人超えたのは構わないということなので、そうすると仮に36人になったら、2クラスにできる。35人を超えるから。そうすると、十何人の学級になる。そうするとそこには、たくさんまだ余裕がある。だからその学年の状況によっても随分違ってくる。いっぱいいっぱい学年もある。38人いっぱい学級を開けなくて、もういっぱいですよと、そういうところもあるので。だからと言って4月の段階で、9月を見越して学年を2クラスにしておくというのは難しい。

質問者 実際が増えてから対応することは、まだ決まっていないということか。

回答者 基本は、5月1日現在で学級編成というのは決まる。そうすると、そこで職員の定数も全て決まる。今度、例えば、協議によるけれども、それだけ増えたから9月に増やしてくださいとなったときには、先生の採用はないかもしれない。つまり、そうすると講師の先生に来てもらう。そういうような対応の仕方になるかもしれないけれども、それは多分校長先生と委員会との協議の中で進めていかれることだというふうになる。見越してとかで開くのはないと理解していただきたい。

質問者 実際が増えれば、お願いする余地はあると。

回答者 そういうことである。年度の途中でクラス替えだから。それは多分、校長先生と保護者の役員さん、またその学年の保護者の皆さん、全校の保護者の方に説明をして、こういう形だけれども、校長としてはこういうふうを考えているけれどもどうでしょうというような意見を聞かれる、そういう過程があるのではないかなと考える。

回答者 ちょっと11ページの案件について、見ていただきたい。谷津南小が今のままだと、27年度の9月に869戸のマンションが入ってくるけれども、今現在の谷津南小は420人、14教室である。そうすると、これは学年ごとではないものだから申しわけないけれども、学校として1クラス30人。要は。平均すると。学級数で平均すると1クラス30人クラスなものであるから、それほど満杯な状態ではないということがうかがえるので、正直な話、この辺は分析してみないといけないけれども、それほど62人が増えても、何とかいけるかなという感じはつかめていただけるかなと。

質問者 やっぱりこちらとしても、今ここにいるのは役員だけれども、そういう御

説明もしていただいたり、こちらからもしていかなければいけないというのが、すぐ目の前に来ている感じがして、来てくれてうれしいという気持ちも、役員としては特にあるけれども、PTA会費のこととかいろいろあるので、増えていただくのは本当にありがたいというのと、反面、そこもフォローしていかなければいけない。

回答者 今御自身の子どもさんが1人でバスに乗ることはあるかということをごちからから質問をしたいのだが。

質問者 ほとんどない。高学年でもほとんどない。

回答者 塾に行くときなんかはどうしているのかとうことを教えてほしい。

質問者 車で送っていく人が多い。

一中だと青連協とかそういう方々にももう少しこれから一中学区でみてもらうみたいな形にしていくといいかもしれない。向山小と谷津南小が、3つの学校が1つになってやっていくという方向のほうがいいのかと思う。今ばらばらなので、まだ。

回答者 もし仮にバス通学ということになると、バス通学の子とそうでない子がいて、そういったときに子どもたちというのは、何かおかしいというか、何か違う感情というか、そういったところで懸念することは、何か考えられるのか。特段何も無いという感じなのか。教えてほしい。

質問者 今の段階ではちょっとわからない、この問題は。

すごくいろんな人がいて、ばらばら感というのがものすごくあるので、そういう点では、鍵っ子の人もたくさんいるし。逆に谷津南小学校は、古くから住んでいる人が少なく、地域の人というのがちょっと薄い。なので、それがちょっと心配かなというふうには思う。町会とかもないし、例えばこの間の大雪のときなんかは、普通一軒家の方だったり、町会があるところだと、みんな総出で雪かきしたりしているけれども、そういうのがないので、学校の前なんか雪がひどくて、多分先生方が朝やられたんだと思うけれども、そういうことが今回すごくよくわかった。なので、そういうのも、ちょっと心配かなと思う。目が少ないというか。谷津南は向こうから来るというふうにしてみれば。住宅の形態にもよる。みんな集合住宅なので何かそういった方面は難しいかもしれない。

回答者 そうすると、谷津南小学区というのは、地域的なつながりというのは、どちらかと言えば弱い感じか。

質問者 弱い。向こう側の一軒家のほうは、割と、お祭りがあつたりとかというのがあるけれども、こちらは何もないので。1棟ずつで分譲だったり賃貸だったりというのが交差しているので、意外とその分譲の方はきちんとしているような感じがするけれども、賃貸の方はいろんな方がいらっしゃる。

回答者 そうすると、子どもさんがいる保護者同士のつながりというのは、どうなっているのか教えてほしい。

質問者 ほとんど学校だけ。こども会もないし、本当に学校で部活だけ、バスケットをやっていたりとか、夜、社体でという形なので、本当に薄いなど。

回答者 そうすると、今度仮に向こうから来るという保護者との関係性なんかはもっと薄いという状況が想定されるということか教えてほしい。

質問者 いかにも。だからそんなに、こういう保護者会があっても、激しく言う方も少ないし、引っ越しして来る方も、引っ越す方もものすごく多いので、全体的に出入りが多いので、薄いなど。

向山小さんなんかには比べれば、向山小さんはずっと幼稚園から同じクラスで、地域も近くてがっちりしているところがあるので、何かあるとすぐ大変なことになるけれども、こちらはそうではないので、その割に子どもの数も多いし、住んでいる方も多いので、という、よかったり悪かったり。

それがここの地域性というか自然体ということで、だから無理に強く結びつきをつけようというような行為というか、そういうところはあまりないと思う。だから、向山が、750戸のところを受け入れるのと、多分谷津南小に来るのを受け入れるのとはちょっと違うかなというふうには思うけれども。

質問者 うちは、幼稚園はバスで行くけれども、そうするとバスのルートが何本かあつたり、徒歩で来ていらっしゃる方とかがいたりすると、子どもの人間関係も親の人間関係も、そのバスルートで決まっちゃう。遊ぶ日なんかも、そのバスのコースが決まっていたりするので、帰る時間なんかも、このバスだと大体何時ぐらいに帰れるというのが決まっていたりするので、家も大体そ

の辺に固まっているわけだから、そのお友達同士で遊ぶので、そうでない地域、バスが違ったりとか徒歩で通っていらっしゃる方と顔を合わせる機会というのは、本当に授業参観のときだけとかという感じになったりする。もしかしたらそうやってバスで通われるお子さんなんか、毎日同じバスで、同じ時間に一緒に乗っていたら、当然仲よくなってくるだろうし、親御さんもそういうつながりができるかなと思ったりする。例えば平成35年度とかを見ると、谷津南小、受け入れない場合は400人を切っているのに、受け入れると800人を超えているということは、こちら辺のパークタウンとか、もともとの学区の方よりも、受け入れるマンションのほうが多くなるということを見ると、今こういう、人間関係が薄いというか、そういう状態のところ、がちりな方がガッと来ると、逆にちょっとこちらの受け入れ側としては何かちょっと不安というか、心配にもなったりして、大丈夫かなみたいなのは、ちょっと感じたりする。言葉は悪いけれども、のまれちゃうという。でも、子どもがいなくなるより、たくさん来たほうがいいとは思う。

回答者 何がいいと思うか、子どもがいっぱいいいるということについて、教えてほしい。

質問者 少ないとやっぱり何でも、運動会でもそうだし、声が小さいなと思ったり、やっぱりある程度子どもがいないと何もできないのかな、学校の行事とか、というのは少し思う。少な過ぎるとやっぱり向山みたいにいろんな、保護者のトラブルとか、そういうのも目に見えてくるので、たくさん、適正な人数がいたほうがいいかなとは思う。

回答者 やっぱり学校に活気が出てくる、子どもたちの元気な声というのは。例えば学校便りとか学年便りにも、休みが終わると、学校に子どもたちの元気な声に戻ってきました、みたいなことがあって、自分も教員だけれども、校庭に子どもたちがワーワー言って、すごい活気のある校庭で子どもたちが遊んでいる姿を見ると、うれしい。恐らく、小さな学校というのは、一人一人は活気があるんだろうけれども、全体としての活気というのは、なかなか出てこないかもしれない、全体としての活気は。増えてくると、校庭にきっと子どもたちの元気な声が、ワーワー言っている。これって本当の学校だ、本当に学校があるんだなと感じることが、多分校長先生も教育者としてあると思う。もちろん、教室の中の活気ももちろんだけれども、学校全体としての活気として。

質問者 今もう、少しずつ少なくなってきたので、やっぱり静かだなというのも思うし、運動場だってとても広いのに、子どもたちはやっぱり少なくて、運動会をやったときにも少ないなというふうに思うので、増える分には、私たちはもう大歓迎。ただ、ほかのこともいろいろあるので、一緒に行かなければいけないなとは思いますが。

質問者 子どもが増えることに関して。子どもが少ないと、何か子どもの人間関係とかになって、役割が決まっちゃって、今うちの子たちの学年は2クラスしかないんで、入れ替えしても半分入れ替えぐらいでしかないんで、やっぱり人数が多いと、いろんな子がいろんな経験ができるし、いろんな子とかかわれるというのは、子どもたちの成長にとってはすごくいいことなのかなと。少なかったら少なかったで、かかわりが深くなっていい面ももちろんあるとは思いますが。

回答者 学校の中はすごく楽しい。友達が当然できる。子どもは地域のお母さん方とは違って、かなりかかわってくれば、あの子と遊びたい、この子と遊びたいと出てくる。放課後に関して、そうなったときに、遊ばせに行かせるか、お母さんたち。それと、遊ばせに来させるのか聞いてみたいが。

質問者 正直、低学年だと行かせない。やっぱりこちらの公園があるけれども、パークの中には。低学年のときはやっぱりなるべく行かせない。逆に向こうの子たちは、こちらの公園には来ない。親がやっぱり行かせていない。会うなら学校にしなさいというふうに、学校で遊びなさいと。

やっぱり行って帰ってなので、どちらかが行くとなると、距離も長くなるし、いろいろ通っていくと、やっぱり、よく低学年ぐらいの男の子の自転車って暴走するじゃない。なので、ちょっと4年とかぐらいになったら、全然そんなにもう、親が遊びにだめとか言わないけれども、1、2年ぐらいの親御さんはやっぱり大体同じ感じで、ストップかけている。

回答者 それに対して、子どもたちは不満をもつか教えてほしい。

質問者 でも、最近の子たちって、やっぱり自分の家が近い子のところに遊びに行くというのがあるので、そんなには。絶対にいないかと言ったらそうではないと思うけれども。結構家の周りで遊んでいるよね。

回答者 高学年になると、かなり広がるから学校は関係ないのか教えてほしい。

質問者 高学年になると6時間授業とかで遊ぶ時間がなくなる。帰宅時間が遅いので遊ぶときがない。部活も始まったりする。あと、習教研の日だよね、一番危険なのは。放課後の生活を見ると、例えば谷津南の子と向山の子たちが、結構知っている子たちがいたりとか、津田沼小学校の社会体育の関係とか、塾の関係で仲よくなったりすると、その辺、みんなでワーワー遊ぶようになるのは高学年である。低学年はある程度、保護者のほうで遠いからやめなさいとか、それはだめだよというふうにとめてもらうとか、それに対して子どもたちは不満をもつだとかいう場合は、その近所の中でも十分活動が可能であったりとか、もしそれでも遠くに連れて来たいというのであれば、お母さんが送るだとか、親同士で連絡をとって、じゃ、迎えに行くとか、そういうことをしていただいているんだろうなというふうに思う。

質問者 基本、学区の中で遊んでいて、それも友達関係で放課後とか、そういうときに遊ぶのは、やっぱり近所の、東側の子もだったら東側の子もが、そのあたりで遊んでいて、西側は西側の子もたちで遊んでいる。双方が折れ合うとすれば、その中間の学校だと。

学校かハナノキ公園が一番中間というか、バラ園のところ。あそこが多い。やっぱり、両方からしたら、真ん中がいいんだねと。

小さい子はそう。問題は高学年。高学年で部活もやらないで、習教研などで早く、短縮でさようならだったりとか、長期休業中とか。

でも最近は、学区で遊ぶというよりも、社体だとか何かの関係で友達ができていて、広い範囲に遊ぶ範囲というのは広がっている。

回答者 例えば、京葉道路をまたぐと商店街がある。そうするとあそこはもう、向山の学区になる。あそこに公民館があったりする。公園があったりする。ああいうところに、高学年の、4年生、5年生ぐらいの子が。

質問者 谷津南小は行かない。向山の子たちが来ているということでは。公園がないので、向山は。あそこは結構いろんな学校の子たちがいるよね、見かけないような子たちが。あと、高学年になると、パークの中の、玄関というかエントランスでゲームをする。男の子たちはゲームをする場所とか、漫画を読む場所とか、すごく欲しいらしいけれども、皆さんに文句を言われつつ、エントランスで、エントランスを流れ歩くみたいなの。だからむしろそんな場所を提供してもらえると……ゲームをする場所といったら、学校では考えられない。でも、公民館がないというのが、まず1つ。

質問者 公民館がないというのが、先ほど言った、ちょっと地域のつながりなんかも、ひょっとしたらあるかもしれない。皆さんがそこに集まって来れば。老人の方とも触れ合うことがないから。

回答者 谷津南小学校はこれまでいろんなことの教育活動があった。以前、もっと音楽に力を入れてほしいと、体育館で説明したときに、保護者の方から言われたことがあるけれども、谷津南小学校にこんな特色がある教育をしてもらいたいな、こんなことをこれから谷津南の子どもたちにさせたいなというようなお気持ちというのは、何かあるか。今も一生懸命、校長先生初め、先生方がやってくれて、お母さんたちに協力してもらっているけれども、それに上乗せをしたときに、こんな教育をしてもらえると、これから谷津南ってもっとよくなるのになというのはあるか教えてほしい。

質問者 やっぱり谷津干潟。だってここにしか谷津干潟はないんだから、どうしてこんなに近くにあるのに、行かせてもらえないのかというのを、すごく思う。2年生が干潟観察というのを何度か定期的にやっているのと、あとは4年生、5年生どちらか、この間三角干潟のところに不法投棄が多いというので、やめてくれというポスターを描いて、かかわるとか、そういうのはある。以前は木道があったが、震災から入れなくなった。東日本大震災があったじゃない。それで木道なんかも随分危なくなってしまって、子どもたちを中に入れることが危険だからということだったような。

質問者 図書室の本がすごい古いし、本がすごく少ないしというところがあって、人気のある本、いい本というのは、みんなが読むので、どんどんぼろぼろになって、そういう本が廃棄されていたりして、という部分があるので、もっと何か。図書室って本当につくったらすごいだろうね。地域の方に貸し出せるようなね。

回答者 予算を担当しているところとして、谷津南小の学校図書を増やせるよう努力したい。

～閉会～